



学校だより

令和5年1月31日
横浜市立豊田小学校
2月号

開く つなげる とともに

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

創立131年から132年へ

副校長

学校生活の中では、節目ごとに、自分の成長を振り返る機会があります。しかし、「自分の成長を自分で実感する」ことはなかなか難しいもので、他人に言われて気がつくこともあります。豊田小学校では、各教室で、さまざまな成長のを見つけ合いや気づき合いが、教師と子ども、あるいは子どもと子ども同士の間で自然と行われています。学校教育目標の中の「豊かにかかわり」の部分につながっていく、よい姿だと思います。

短いスパンでは見えにくいものでも、長いスパン、とりわけ小学校生活6年間で振り返ると、その成長はとてつもなく大きなものとなります。まもなく完成を迎えようとしている、卒業文集の中には、それが溢れています。ただ、この学校だより上で、6年生の言葉をそのまま紹介するわけにはいかないのです、いちばん多く取り上げられていたテーマについてのみ紹介します。

それは、「なかよしタイム（異年齢集団による交流）」です。計画・運営する立場になって感じたこと、それをフォローしてくれた人への感謝、そして参考にした歴代6年生たちの姿。このような思いの数々は、いったいどのようにして育まれてきたのでしょうか。その答えは、1月13日に明らかになりました。「なかよし引き継ぎ式」です。



6年生代表の言葉



各グループ引き継ぎ



5年生代表の言葉

～「なかよし引き継ぎ式」のねらい～

6年生➡学校を支えてきたこと・なかよしタイムでの活動を振り返り、これまでの思いを託すことで、自分や周りの努力を再確認して次のステップの糧とする。

5年生➡6年生から思いを直接引き継ぐことで、これから学校を支える立場であるという自覚と責任を身に付ける。

豊田小学校では、6年生が学校のリーダーとして計画・運営する、「なかよしタイム」において、6年生自らが5年生に直接これまでの思いを引き継ぐ、この活動を大切にしてきました。

※学校HPでも、1.20更新分で紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

3年ぶりに全校一斉開催することができた運動会等、コロナ禍からの大きな転換期であった創立131年の令和4年度を牽引した6年生から、創立132年目の新6年生へ。豊田小学校は、これからも歩み続けます。